

令和5年7月18日

札幌市長 秋元克広様

南区における母熊捕獲並びに子熊の誘引捕獲射殺予定に対する
公開質問状について

北海道の罨問題を考える会

冠省

私ども「北海道の罨問題を考える会」は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念により、熊の実像について調査研究し、人と熊が共存する社会形成を図るための提言と啓蒙活動を行っております。

さて、7月8日に南区を歩いていた母子熊の母親を捕獲檻に誘引し、檻越しに射殺した件につきまして、山へ戻ろうとしている家族を見守ることもできず、母熊を檻に閉じ込めて恐怖を与えた上に射殺し、その子どもたちに対しても誘引捕獲後射殺予定という非人道的かつ社会通念上、教育上、今の時代に弊害を生む札幌市の対応には強い憤りを禁じえません。

つきましては、事実関係をお尋ねしたく、別紙の「南区における母熊捕獲並びに子熊の誘引捕獲射殺予定に対する公開質問状」のとおり質問いたします。

ご多忙のところ恐れ入りますが、7月31日までにEメールにて当会
にご回答をいただけますようお願い申し上げます。

なお、期限までご回答いただけなかった場合はその旨を公表いたしますことを申し添えます。また、この質問状を含めた関係資料につきましては、ソーシャルネットワークサービス、国内外の関係団体、関係省庁、マスメディア等に公開する可能性があることを予めご承知おきください。

不一

【質問1】母子熊の存在を確認した時点で、なぜ、その母子（あるいは母だけでも）が人家付近に再出しないように「電気柵も設置する事なく」、また、母子が様子を見た後に山へ戻ろうとしていたところを人道的な対応をせず、檻罠をしかけ、射殺したのか」、倫理的観点から、行政としての理由を具体的にご説明ください。

【質問2】捕獲後射殺をするという助言ならびに判断はどの部門が行ったのかご説明ください。

【質問3】檻罠に使用した誘引物は何を使っているのか詳細をご説明ください。また、その誘引物を使用することによって、他の熊を住宅街に引き寄せている関連性についてご説明ください。

【質問4】北海道立総合研究機構の研究者は、ワシントン条約で国際取引が禁止されている熊胆を国内で流通させる構想を練っていますが、今回の個体の熊胆は道総研へ提供されたのでしょうか。提供した札幌市は、公的機関としてどの部位を提供したのかご説明ください。

【質問5】今回の件に関して、どのような経緯で酪農学園大学へ試料提供したのかご説明ください。提供した札幌市は、公的機関としてどの部位を提供したのかご説明ください。

【質問6】野生動物の命を奪う瞬間や罠にかかって苦しんでいる動画、さらには亡骸を解体する動画など、野生動物を虐待する動画が社会問題になっていますが、今回は動画撮影は行われていたのかどうかご説明ください。

以上